



興 照 寺 報

令和2年11月

73号



発行 浄土真宗 興 照 寺

〒890-0045 鹿児島市武一丁目25番12号

電話 **099-254-3269** (代)FAX 099-254-0303

URL <https://take-koshoji.com/>



興照寺ホームページ 開設しました！！

この度、興照寺ホームページを開設いたしました。

これまで境内掲示板や年3回の寺報でしか当寺情報をお知らせ出来ませんでした。今後はインターネット環境さえあれば“いつでもどこでもどなたでも”スマートフォンやパソコンで閲覧できるようになりました。

これからは寺も、時代に合わせアップデート（更新）し、“新しい寺様式”に変化していかなければなりません。

門徒の皆さまの中には「ホームページと言われても何のことやら分からない…」という方もいらっしゃると思います。そのような方は、ご家族やお知り合いの方（当寺職員でも構いません）でスマートフォンやパソコンをお持ちの方がいらっしゃったら、下記の方法で一度ご覧になってみてください。

ホームページでは、当寺の最新情報をはじめ、年間行事情報、各種法要受付時間、寺院概要、求人情報など掲載しております。“よくあるご質問”は9月開設以降、特に好評でよくご覧いただいているようです。今後、気兼ねなく閲覧して頂き、興照寺の事、浄土真宗の事をもっと知って頂ければと思っています。



興照寺ホームページを見る方法

方法が分からない方はパソコンやスマホを
使える人に聞いてみてくださいね！

方法
1

浄土真宗 興照寺 鹿児島市武町 🔍 検索

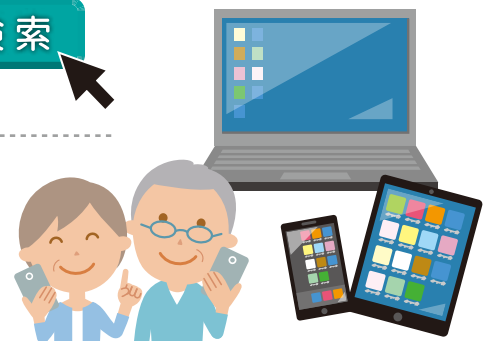
入力して検索する

方法
2

<https://take-koshoji.com/> で検索する

方法
3

QRコード を読み取る ⇒



令和元年11月に旧本堂の解体工事が始まり、早1年経ちました。おかげ様で完成まで残り約15%となりました。(10月末現在)内装工事も始まり、いよいよ目に見えて“形”となってきました。10月下旬から箇所別に足場も撤去され、全容が少しずつ見えてきております。お近くをお通りの際は、是非ご覧ください。

なお、ホームページ上では、寺報に掲載出来なかった工事進捗状況の写真を多数掲載しておりますので、そちらも是非ご覧ください。

完成間近！12月下旬引き渡し予定。
落慶法要（落成を祝う法要）を
令和3年4月3日（土）に開催する予定です。



(令和2年10月25日現在の興照寺)



(1階本堂)



(3階納骨堂南側)

～当寺本堂改築ご寄付に対する御礼～

昨年9月より、多くの門徒の方々から浄財をご寄付頂きましたこと、心から御礼申し上げます。ご寄付の申し込みについては引き続き受け付けております。ご協力よろしくお願いたします。

工程表（予定）	
令和2年8月～	新築・会館外装、内部工事
12月末	完成検査、引き渡し、寺務所引越
令和3年1月中旬	3階納骨壇搬入・設置
4月3日	落慶法要

【来寺の際のお願い】
本堂改築工事期間中は、**駐車場利用が制限されます。**
法事や納骨堂のお参りなどで来寺される際に、当寺駐車場の空きがなく、近くのコインパーキングに停めて頂く場合がございます。尚、他に来寺される方や一般通行人のご迷惑になりますので会館入口前の駐車は、**ご遠慮ください。**
ご不便、ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願申し上げます。

引き渡し後の年明け、寺報臨時号を発行し、改めて皆様には完成報告をさせていただく予定です。

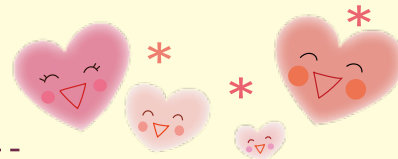
教えてお寺のこと！

実際に門徒の皆様やお参りいただいた方々から頂いた素朴な質問にお答えしていくコーナーです。

問 浄土真宗の年忌法要（法事）にはどのような“意味”があるのですか？

答 亡き人の命日を“縁”として、仏さまのお徳をたたえ、お経に説かれているみ教えを聞かせていただく場、つまり、亡き人を偲びつつ、静かに自分自身のいのち・人生を思い、み教えを聴聞する場が浄土真宗の年忌法要（法事）です。このようなことから、本来、浄土真宗の年忌法要（法事）は、亡くなった方をご縁として、今を生きている私たちのためのものであるのです。

私たちは決してひとりではありません。多くの人々のつながりの中で生かされていることを再確認する時間（機会）にさせていただければと思います。



右表は令和3年年回法要表になります。

当寺では年回法要に該当される施主様へ該当月の約3か月前にハガキにて年回法要のお知らせをさせて頂いております。年回法要（法事）日時等のご予約は早めに当寺までご連絡ください。

※当寺で行う場合、コロナウイルス感染症対策として他のご家族との合同法要はせず、マスク着用、会食不可、1家族10名以下での出席をお願いしております。（令和2年11月現在）
ご理解ご協力宜しくお願い致します。

年回法要	亡くなられた年
1周忌	令和 2年
3回忌	平成31年・令和元年
7回忌	平成27年
13回忌	平成21年
17回忌	平成17年
25回忌	平成 9年
33回忌	昭和64年・平成元年
50回忌	昭和47年

以後、50年毎
地方によっては25回忌を23回忌と27回忌と分けてつとめる場合もあります。

令和3年行事予定



日 時		行 事
1月	1日(金)	修正会
3月	17日(水)～20日(土：お中日)	春季彼岸法要
4月	3日(土)	落慶法要
	24日(土)～25日(日)	春季永代経法要
8月	13日(金)～15日(日)	盆法要
9月	20日(月)～23日(木：お中日)	秋季彼岸法要
10月	23日(土)～24日(日)	秋季永代経法要
11月	21日(日)	報恩講・物故者追弔法要
12月	31日(金)	除夜会

“落慶法要”とは…
寺院の建物が新築落成・再建落成・修築落成したことに對する祝賀儀式のことです。

※例年4月に行っている花祭り、帰敬式、和順会総会等については日程調整中です。
詳細は1月臨時号にてお知らせいたします。

令和3年の行事につきまして上記予定ではありますが、コロナウイルス感染状況に応じて開催可否等内容が変わる可能性がございます。その際は、当寺ホームページ上でご確認いただくか、直接当寺までお問い合わせください。

令和3年 報恩講 規模縮小開催について

例年と異なり、事前申込み制（先着順）とし、下記の通り執り行います。

◎報恩講のご案内 ※職員による内勤め、法話となります。

日 時	午前10時～(約50分)
11月22日(日)	○

受付：興照寺会館2階寺務所

報恩講当日はマスク着用・入口にて検温。ご理解ご協力宜しくお願い致します。



【報恩講参拝予定の方】

本堂改築工事期間中、並びに新型コロナウイルス感染症対策も考慮し、“3密を避けるため”、会館3階法要室の人数制限を設けており、**事前申込み制（先着順）**とさせていただきます。

報恩講参拝予定の方は、11月18日(水)までに当寺まで電話申込みか直接お申込みください。尚、**一家族2名までで先着順**とさせていただきます、最大収容人数(24名)に達した場合は、誠に恐れ入りますが、締め切らせて頂きます。ご了承くださいませ。



ほう おん こう 報恩講って何？

報恩講は、宗祖親鸞聖人のご命日である11月28日(旧暦)前後に勤められる浄土真宗の最も大切な行事です。浄土真宗で使われる『報恩』とは、宗祖親鸞聖人の恩に報いることを指しています。宗祖に対する恩とは、「この私を救わずにはおれない仏様(阿弥陀仏)のはたらきを知り、気づき、その教えを脈々と伝え、私たちに生きるよりどころ(道)を示し、阿弥陀仏の念仏をすすめていただいた」という恩です。

阿弥陀仏の願いをいただいた私たちが、親鸞聖人を通して、常に生活の中で報恩感謝のお念仏を大事にしながらかささせていただくことの喜びを改めて感じる場です。

【追弔法要のご案内】

例年、報恩講の際に行う追弔法要について、今年は新型コロナウイルス感染症対策に考慮し、12月6日(日)に時間帯を3回に分けてつとめます。該当の方は同封しております“追弔法要のご案内”をご確認ください。

【門徒会費・納骨堂管理費のお願い】

令和2年度の門徒会費(2,000円)、及び納骨堂管理費(10,000円)が未納の方がおられます。

ご確認の上、納入をお願いいたします。

世界中が新型コロナウイルスに振り回された年になりました。日本においては、少し落ち着いてきた傾向にありますが、まだまだ油断は禁物です。

新型コロナウイルスから学んだ生活様式が定着しつつありますが、いかにしてこれまでの生活レベルを取り戻せるか、これからの大きな課題です。協力すべきことには、しっかりと協力していきたいものです。

(住職記)

- 興照寺 寺務所(興照寺会館2階) 受付時間
午前8時30分～午後5時30分
- 興照寺 納骨堂 参詣時間
午前8時～午後6時 ※8月13日～15日は午前7時～午後9時
- 今回同封している鹿児島教区懇談会(西本願寺)が毎年発行しているカレンダー「心のともしび」は、一昨年からの門徒の皆様全員にお届けしております。心にしみる言葉が載っています。是非お使いください。